

体験・学習

水素・燃料電池教室

ねらい

世界的に地球温暖化や気候変動の問題が顕在化している中、2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向けての取り組みが国策として打ち出され、環境にやさしい次世代エネルギーとして「水素」が切り札とされている。

山梨県では、再生可能エネルギー由来の水素製造の事業化を進められており、また、「水素・燃料電池」に関する研究開発拠点が集積しているという恵まれた環境にある。こうした背景と世界トップクラスの燃料電池の研究を50年ほど前から進めてきていることもあり、山梨大学として次世代を担う子どもたちに「水素・燃料電池」を分かりやすく、そして正しく学ぶ機会を提供しようと出張授業を企画する。

概要

グループ単位で簡単な実験やクイズ・動画を交えてすすめる。

☆今なぜ水素なの？

- ・地球温暖化、エネルギー問題を考えよう！
- ・水素ってな～に？
- ・水素を作ってみよう！

☆燃料電池ってな～に？

- ・水素で燃料電池を発電してみよう！！

☆水素をエネルギーとしてどんなものが動かせたらいいなを考えてみよう！

場所

教室・理科室・体育館
など

時期
(季節)

通年

対象

小学校4年生以上

人数

100名前後まで

プログラム No.7

タイムスケジュール

所要時間

60分～90分

所要時間は1時間～2時間の中で希望に沿います。
学校の要望やねらい、学年、時間を加味して内容決めていきます。

参加者負担費用

無料

持ち物・準備品

PowerPoint、動画を使用します。PCとつなぐ映像機器、配線のご準備と会場が広い場合はマイクのご準備をお願いします。

その他（特記事項）

- ・グループで座れる会場をお願いします。（実験道具の関係で最大12グループまで）
- ・他の学校が決まっている日程ではお受けできないので、予備日をご検討ください。
- ・実験道具の準備のため30分前には会場に入ります。片付けは時間が可能であれば生徒にも手伝って頂きたいです。

実施団体

国立大学法人 山梨大学
水素・燃料電池技術ナノ材料研究センター
研究推進・社会連携機構 水素・燃料電池技術支援室

TEL ; 055-279-7098
E-Mail ; hfc-info@yamanashi.ac.jp